

長野読売新聞 1987年10月31日(火)発行

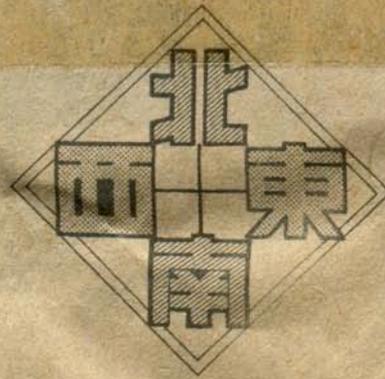
ログハウスの建設中に取材された記事、左から二人目の女性が帰山氏で当時の関係者60名でログハウスの基礎から壁面6段までを組み上げたところ。その後は専門家に依頼した模様です。(10月11日)

昭和62年(1987年)10月13日(火曜日)

長野読売

来春にはログハウス

佐久 内山の妙義荒船
 園定公園に囲まれ
 た山林内に、東京都豊島区
 「みのり幼稚園」(帰山祐子
 園長)の関係者がログハウス



を建造中。十一日、作業に一
 応の終止符を打つパーティー
 を行った。

帰山(かえりやま)園長(五
 が五十五年、湯治に訪れて豊
 かな自然に感激。都会っ子の
 ためのキャンプ場作りを思い
 立った。卒園生の父母ら約六
 百人に呼びかけて資金を募

平方メートル取得。昨春から、有
 志約六十人の素人集団が休日
 を利用して通い、キャンプ場
 の拠点、ログハウスの丸太組
 みを続けて来た。

ログハウス(敷地七十平方
 米。吹き抜けの二階建ての予
 定)は、来春には完成。現在、
 丸太を六段百四十四本組み終
 わつた。あとは、専門業者に



作業が一段落したログハウス前で
 祝杯(左から2番目が帰山園長)